

■ 千葉県企業局水道工事標準仕様書 新旧対照表

新	旧
水道工事標準仕様書	水道工事標準仕様書
I 共通編	I 共通編
1. 総則	1. 総則
1.1 一般事項	1.1 一般事項
省略	省略
1.1.7 契約金額の変更	1.1.7 契約金額の変更
<p>契約金額の変更は、契約書第 20 条の規定によるものとする。ただし、請負金額の変更は当局単価で行い、前設計見積工事価格(請負金額の 110 分の 100 相当額)の 3%以内で 25 万円を超過しないものの増減額分については変更しないものとする。</p>	<p>契約金額の変更は、契約書第 20 条の規定によるものとする。ただし、請負金額の変更は当局単価で行い、前設計見積工事価格(請負金額の <u>108 分</u>の 100 相当額)の 3%以内で 25 万円を超過しないものの増減額分については変更しないものとする。</p>
1.1.8 工事の検査	1.1.8 工事の検査
省略	省略
2.3 材料品目	2.3 材料品目
省略	省略
2.3.13 JIS、JWWA及びJDPA等の水道用材料	2.3.13 JIS、JWWA及びJDPA等の水道用材料
1. 水道用として使用する材料は、次の各号に掲げる JIS、JWWA、JDPA及び当局仕様品とする。ただし、規格等は今後修正されることがあるため、最新データをフォローすること。	1. 水道用として使用する材料は、次の各号に掲げる JIS、JWWA、JDPA及び当局仕様品とする。ただし、規格等は今後修正されることがあるため、最新データをフォローすること。
(1) JIS規格の水道用品	(1) JIS規格の水道用品
省略	省略
(2) JWWA規格の水道用品	(2) JWWA規格の水道用品
省略	省略
(3) JDPA規格の水道用品	(3) JDPA規格の水道用品
G 1042 NS形ダクタイル鋳鉄管	G 1042 NS形ダクタイル鋳鉄管
G 1049 GX形ダクタイル鋳鉄管	G 1049 GX形ダクタイル鋳鉄管
G 1052 S50形ダクタイル鋳鉄管	
(4) 当局仕様の水道用品	(4) 当局仕様の水道用品
省略	省略

新	旧																																																							
II 管路工事編 省 略 5. 鑄鉄管製作並びに接合工事 省 略 5. 3 接合工事 省 略 5. 3. 10 US形鑄鉄管の接合 省 略 5. 3. 11 フランジ形鑄鉄管の接合 1. 大平面座形フランジ（RF-RF）鑄鉄管の接合は、次の各号によるものとする。 (1) フランジ接合面は、錆、塗料の塗り残りその他の異物をよく取り除かなければならない。 (2) RF形ガスケット、全面フランジパッキンは、移動を生じないように固定しながら両面を密着させ、ボルトを片締めにならないように全周を通じて均等に締付けなければならない。 (3) 締め付けは、表5.7に示す締付けトルクまで締付けなければならない。 表5.7 大平面座形フランジのボルト標準締付けトルク	II 管路工事編 省 略 5. 鑄鉄管製作並びに接合工事 省 略 5. 3 接合工事 省 略 5. 3. 10 US形鑄鉄管の接合 省 略 5. 3. 11 フランジ形鑄鉄管の接合 1. 大平面座形フランジ（RF-RF）鑄鉄管の接合は、次の各号によるものとする。 (1) フランジ接合面は、錆、塗料の塗り残りその他の異物をよく取り除かなければならない。 (2) RF形ガスケット、全面フランジパッキンは、移動を生じないように固定しながら両面を密着させ、ボルトを片締めにならないように全周を通じて均等に締付けなければならない。 (3) 締め付けは、表5.7に示す締付けトルクまで締付けなければならない。 表5.7 フランジボルト締付けトルク																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>ボルトの呼び</th> <th>締付けトルク※¹ (N・m)</th> <th>締付けトルク※² (N・m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75～200</td> <td>M16</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>250・300</td> <td>M20</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>350・400</td> <td>M22</td> <td>120</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>450～600</td> <td>M24</td> <td>260</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>700～1200</td> <td>M30</td> <td>570</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>1350～1500</td> <td>M36</td> <td>900</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	呼び径 (mm)	ボルトの呼び	締付けトルク※ ¹ (N・m)	締付けトルク※ ² (N・m)	75～200	M16	60	60	250・300	M20	90	90	350・400	M22	120	120	450～600	M24	260	180	700～1200	M30	570	330	1350～1500	M36	900	500	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ボルトの呼び</th> <th>締付けトルク (N・m)</th> <th>連用呼び径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M16</td> <td>60</td> <td>75 ～ 200</td> </tr> <tr> <td>M20</td> <td>90</td> <td>250 ・ 300</td> </tr> <tr> <td>M22</td> <td>120</td> <td>350 ・ 400</td> </tr> <tr> <td>M24</td> <td>180</td> <td>450 ～ 600</td> </tr> <tr> <td>M30</td> <td>330</td> <td>700 ～ 1,200</td> </tr> <tr> <td>M36</td> <td>500</td> <td>1,350 ～ 1,800</td> </tr> <tr> <td>M42</td> <td>580</td> <td>2,000 ～ 2,400</td> </tr> <tr> <td>M48</td> <td>700</td> <td>2,600</td> </tr> </tbody> </table>	ボルトの呼び	締付けトルク (N・m)	連用呼び径 (mm)	M16	60	75 ～ 200	M20	90	250 ・ 300	M22	120	350 ・ 400	M24	180	450 ～ 600	M30	330	700 ～ 1,200	M36	500	1,350 ～ 1,800	M42	580	2,000 ～ 2,400	M48	700	2,600
呼び径 (mm)	ボルトの呼び	締付けトルク※ ¹ (N・m)	締付けトルク※ ² (N・m)																																																					
75～200	M16	60	60																																																					
250・300	M20	90	90																																																					
350・400	M22	120	120																																																					
450～600	M24	260	180																																																					
700～1200	M30	570	330																																																					
1350～1500	M36	900	500																																																					
ボルトの呼び	締付けトルク (N・m)	連用呼び径 (mm)																																																						
M16	60	75 ～ 200																																																						
M20	90	250 ・ 300																																																						
M22	120	350 ・ 400																																																						
M24	180	450 ～ 600																																																						
M30	330	700 ～ 1,200																																																						
M36	500	1,350 ～ 1,800																																																						
M42	580	2,000 ～ 2,400																																																						
M48	700	2,600																																																						
※1 水密性確保の観点から、ねじ部の摩擦係数が比較的大きいボルトを用いる場合の値を示す。 ※2 ねじ部に焼き付き防止剤等が施され、ねじ部の摩擦係数が低減されている低摩擦のボルトを用いる場合の値を示す。																																																								

新	旧
<p>2. 溝形（メタルタッチ、RF-GF）鋳鉄管の接合は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) フランジ面、ガスケット溝、ガスケット及びボルトナットを清掃し、異物や塗料の塗溜まりは取り除かなければならない。</p> <p>(2) <u>ガスケット溝にGF形ガスケット1号を装着する。この時、接着剤は用いなくてもよいが、溝からはずれやすい場合は、シアノアクリレート系接着剤を呼び径によって4～6等分点に点付けする。ただし、酢酸ビニル系接着剤、合成ゴム系接着剤等は、ガスケットに悪影響を及ぼすので使用してはならない。</u></p> <p>(3) フランジの合わせは、ガスケットがよじれないように注意するとともに、片締めにならないよう両方のフランジ面が全周にわたり確実に接触するまで締め付ける。さらに、<u>すべてのボルトが60N・m以上のトルクがあることを確認しなければならない。</u>また、ガスケットがフランジ面間にかみ込んでいる場合は、継手を解体し、ガスケットの損傷がないことを確認のうえ、接合し直さなければならない。</p> <p>(4) 締め付け後は、隙間ゲージにより円周4箇所、等間隔の位置で隙間を確認しなければならない。このとき、フランジ面間に<u>1mm厚</u>の隙間ゲージが入ってはならない。</p> <p>5. 3. 12 PN形鋳鉄管の接合 省 略</p> <p>5. 3. 13 GX形鋳鉄管の接合 省 略</p> <p>5. 3. 14 S50形鋳鉄管の接合 S50形ダクタイル鋳鉄管の接合は、S50形ダクタイル鋳鉄管設計施工基準によるものとする。</p> <p>5. 3. 15 水圧試験 省 略</p> <p>5. 3. 16 水圧試験に伴うモルタルライニング面への浸透防止 省 略</p> <p>5. 3. 17 作業分担 省 略</p>	<p>2. 溝形（メタルタッチ、RF-GF）鋳鉄管の接合は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) フランジ面、ガスケット溝、ガスケット及びボルトナットを清掃し、異物や塗料の塗溜まりは取り除かなければならない。</p> <p>(2) <u>ガスケットの装着にあたり、ガスケットに有害な接着剤を使用してはならない。また、接着剤がガスケット溝からはみ出してはならない。</u></p> <p>(3) フランジの合わせは、ガスケットがよじれないように注意するとともに、片締めにならないようフランジ面が全周にわたり確実に接触するまでボルトを表5.7に示す規定の締め付けトルクまで締め付けなければならない。また、ガスケットがフランジ面間にかみ込んでいる場合は、継手を解体し、ガスケットの損傷がないことを確認のうえ、接合し直さなければならない。</p> <p>(4) 締め付け後は、隙間ゲージにより円周4箇所以上で、等間隔の位置で隙間を確認しなければならない。このとき、フランジ面間に<u>0.5mm厚</u>の隙間ゲージが入ってはならない。</p> <p>5. 3. 12 PN形鋳鉄管の接合 省 略</p> <p>5. 3. 13 GX形鋳鉄管の接合 省 略</p> <p>5. 3. 14 水圧試験 省 略</p> <p>5. 3. 15 水圧試験に伴うモルタルライニング面への浸透防止 省 略</p> <p>5. 3. 16 作業分担 省 略</p>

新	旧
<p style="text-align: center;">1 1. 道路復旧工事</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p>1 1. 8. 2 アスファルト舗装の材料</p> <p>1. アスファルトの品質</p> <p>(1) 使用するアスファルトの種類は、設計図書によるものとする。</p> <p>(2) 舗装用石油アスファルトは、表2. 21に示す規格によるものとする。</p> <p>(3) 再生アスファルトは、表2. 21に示す規格のうち、100～120を除く、40～60、60～80及び80～100の規格に適合するものとする。</p> <p>(4) 改質アスファルトのうち、セミブローンアスファルトは、表2. 23に示す規格に適合するものとする。</p> <p>2. アスファルト舗装工に使用する材料について、以下は設計図書によらなければならない。</p> <p>(1) 粒状路盤材、粒度調整路盤材、セメント安定処理に使用するセメント、石灰安定処理に使用する石灰、加熱アスファルト安定処理・セメント安定処理・石灰安定処理に使用する骨材、加熱アスファルト安定処理に使用するアスファルト、表層・基層に使用するアスファルト及びアスファルト混合物の種類</p> <p>(2) セメント安定処理・石灰安定処理・加熱アスファルト安定処理に使用する骨材の最大粒径と品質</p> <p>(3) 粒度調整路盤材の最大粒径</p> <p>(4) 石粉以外のフィラーの品質</p> <p>3. 受注者は、アスファルト混合物事前審査委員会の事前審査で認定された加熱アスファルト混合物を使用する場合は、事前に認定書（認定証、混合物総括表）の写しを監督職員に提出するものとし、アスファルト混合物及び混合物の材料に関する品質証明、試験成績表の提出及び試験練りは省略できる。なお、上記以外の場合においては、以下による。</p> <p>4. 受注者は、以下の材料の試験結果を、工事に使用する前に監督職員に提出しなければならない。ただし、これまでに使用実績があるものを用いる場合には、その試験成績表を監督職員が承諾した場合には、受注者は、試験結果の提出を省略する事ができるものとする。</p> <p>(1) 粒状路盤材及び粒度調整路盤材</p> <p>(2) セメント安定処理、石灰安定処理、加熱アスファルト安定処理、基層及び表層に使用する骨材</p> <p>(3) 加熱アスファルト安定処理、基層及び表層に使用するアスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>5. 受注者は、使用する以下の材料の試験成績書を工事に使用する前に監督職員に提出しなければならない。</p> <p>(1) セメント安定処理に使用するセメント</p> <p>(2) 石灰安定処理に使用する石灰</p> <p>6. 受注者は、使用する以下の材料の品質を証明する資料を工事に使用する前に監督職員に提出しなければならない。</p>	<p style="text-align: center;">1 1. 道路復旧工事</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p>1 1. 8. 2 アスファルト</p> <p>1. アスファルトの品質</p> <p>(1) 使用するアスファルトの種類は、設計図書によるものとする。</p> <p>(2) 舗装用石油アスファルトは、表2. 21に示す規格によるものとする。</p> <p>(3) 再生アスファルトは、表2. 21に示す規格のうち、100～120を除く、40～60、60～80及び80～100の規格に適合するものとする。</p> <p>2. 受注者は、以下の材料の試験結果を、工事に使用する前に監督職員に提出しなければならない。ただし、これまでに使用実績があるものを用いる場合には、その試験成績表を監督職員が承諾した場合には、受注者は、試験結果の提出を省略する事ができるものとする。</p> <p>(1) 粒状路盤材及び粒度調整路盤材</p> <p>(2) セメント安定処理、石灰安定処理、加熱アスファルト安定処理、基層及び表層に使用する骨材</p> <p>(3) 加熱アスファルト安定処理、基層及び表層に使用するアスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>3. 受注者は、使用する以下の材料の品質を証明する資料を工事に使用する前に監督職員に提出しなければならない。</p> <p>(1) 加熱アスファルト安定処理、基層及び表層に使用するアスファルト</p>








































新	旧
<p>(1) 加熱アスファルト安定処理、基層及び表層に使用するアスファルト</p> <p>(2) 再生用添加剤</p> <p>(3) プライムコート及びタックコートに使用する瀝青材料</p> <p>なお、製造後 60 日を経過した材料は、品質が規格に適合するかどうかを確認するものとする。</p> <p>11.8.3 骨材</p> <p>省 略</p> <p>11.10 アスファルト舗装の材料</p> <p>11.8.2の規定に準じるものとする。</p> <p>11.11 骨材</p> <p>省 略</p> <p>11.15 品質の試験方法</p> <p>11.15.1 アスファルト混合物事前審査制度</p> <p>1. アスファルト混合物事前審査制度は、アスファルト混合所から出荷されるアスファルト混合物を関東地方整備局長が指定するアスファルト混合物事前審査機関が事前に審査認定することにより、従来の工事毎、混合物毎に実施してきた基準試験練り等を省略できる制度である。</p> <p>2. 発注者、施工者およびアスファルト混合物製造者の業務の合理化、省力化ならびにアスファルト</p>	<p>(2) 再生用添加剤</p> <p>(3) プライムコート及びタックコートに使用する瀝青材料</p> <p>なお、製造後 60 日を経過した材料は、品質が規格に適合するかどうかを確認するものとする。</p> <p>11.8.3 骨材</p> <p>省 略</p> <p>11.10 アスファルト</p> <p>11.10.1 アスファルトの品質</p> <p>1. 使用するアスファルトの種類は、設計図書によるものとする。</p> <p>2. 舗装用石油アスファルトは、表2.21に示す規格に適合するものとする。</p> <p>3. 再生アスファルトは、表2.21に示す100～120を除く、40～60、60～80及び80～100の規格に適合するものとする。</p> <p>4. 改質アスファルトのうち、セミブローンアスファルトは、表2.23に示す規格に適合するものとする。</p> <p>11.10.2 アスファルトの確認</p> <p>受注者は、工事に使用する前にアスファルトの品質証明書を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>11.10.3 再生用添加剤の品質</p> <p>プラントで使用する再生用添加剤の種類は、設計図書によるものとする。また、再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令に規定されている特定化学物質を含まないものでなければならない。</p> <p>11.10.4 再生用添加剤の確認</p> <p>受注者は、工事に使用する前に再生用添加剤の品質証明書を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>11.11 骨材</p> <p>省 略</p> <p>11.15 品質の試験方法</p> <p>11.15.1 事前審査制度</p> <p>1. 受注者は、当該工事に使用するアスファルト混合物及び再生アスファルト混合物について、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の認定混合物を使用する場合は、認定書の写しを工事に使用する前に監督職員に提出しなければならない。必要書類を提出し、監督職員が承諾した時に限り、混合所での立会検査及び試験記録の提出を省略することができる。</p> <p>2. 認定混合物とは、次の各号に定めるものをいう。</p>

新	旧
<p data-bbox="174 228 703 252">混合物の安定した品質の確保を図ることを目的としている。</p> <p data-bbox="159 611 398 635">11.15.2 締固め度</p> <p data-bbox="573 651 636 675">省略</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1200 228 1765 252">(1) 加熱アスファルト安定処理、基層及び表層に使用する骨材 <li data-bbox="1200 268 1783 292">(2) 基層及び表層に使用するアスファルトコンクリート再生骨材 <li data-bbox="1200 308 1839 331">(3) 加熱アスファルト安定処理、基層及び表層に使用するアスファルト <li data-bbox="1200 347 1368 371">(4) 再生用添加剤 <li data-bbox="1200 387 1783 411">(5) 加熱アスファルト安定処理路盤材の粒度及びアスファルト量 <li data-bbox="1200 427 1644 451">(6) 加熱アスファルト安定処理路盤材の基準密度 <li data-bbox="1200 467 1704 491">(7) 加熱アスファルト混合物の粒度及びアスファルト量 <li data-bbox="1200 507 1727 531">(8) 表層及び基層用の加熱アスファルト混合物の基準密度 <li data-bbox="1200 547 1525 571">(9) 排水性舗装用混合物の配合設計 <p data-bbox="1189 611 1429 635">11.15.2 締固め度</p> <p data-bbox="1597 651 1659 675">省略</p>

新					旧									
V 工事関係要領等					V 工事関係要領等									
17. 埋設管の腐食対策施工要領					17. 埋設管の腐食対策施工要領									
省 略					省 略									
2. 使用材料 (1) 防食用ポリエチレンスリーブ ① 被覆に用いるポリエチレンスリーブ、固定用ゴムバンド及び締め具及び継手部用固定ネット（以下「スリーブ類」という。）は、日本水道協会規格（以下「JWWA」という）に適合したものを使用すること。 ② スリーブ類の品質は、JWWA K 158（水道用ダクタイル鋳鉄管用ポリエチレンスリーブ）の規定に適合するものであること。 ③ ポリエチレンスリーブの形状は、表1に適合するものであること。					2. 使用材料 (1) 防食用ポリエチレンスリーブ ① 被覆に用いるポリエチレンスリーブ、固定用ゴムバンド及び締め具及び継手部用固定ネット（以下「スリーブ類」という。）は、日本水道協会規格（以下「JWWA」という）に適合したものを使用すること。 ② スリーブ類の品質は、JWWA K 158（水道用ダクタイル鋳鉄管用ポリエチレンスリーブ）の規定に適合するものであること。 ③ ポリエチレンスリーブの形状は、表1に適合するものであること。									
表-1 材料寸法 (mm)					表-1 材料寸法 (mm)									
呼び径	内径	折り径	厚さ	長さ	呼び径	内径	折り径	厚さ	長さ	呼び径	内径	折り径	厚さ	長さ
50	248	390	0.2	5,000	700	955	1,500	0.2	7,500	75	248	390	0.2	5,000
75	248	390	0.2	5,000	800	1,114	1,750	0.2	7,500	100	286	450	0.2	5,000
100	286	450	0.2	5,000	900	1,210	1,900	0.2	7,500	150	350	550	0.2	6,000
150	350	550	0.2	6,000	1,000	1,273	2,000	0.2	7,500	200	414	650	0.2	6,000
200	414	650	0.2	6,000	1,100	1,401	2,200	0.2	7,500	250	446	700	0.2	6,000
250	446	700	0.2	6,000	1,200	1,592	2,500	0.2	7,500	300	509	800	0.2	7,000
300	509	800	0.2	7,000	1,350	1,719	2,700	0.2	7,500	350	573	900	0.2	7,000
350	573	900	0.2	7,000	1,500	1,846	2,900	0.2	7,500	400	637	1,000	0.2	7,000
400	637	1,000	0.2	7,000	1,600	1,974	3,100	0.2	5,500(6,500)	450	700	1,100	0.2	7,000
450	700	1,100	0.2	7,000	1,650	2,037	3,200	0.2	5,500(6,500)	500	732	1,150	0.2	7,500
500	732	1,150	0.2	7,500	1,800	2,165	3,400	0.2	5,500(6,500)	600	859	1,350	0.2	7,500
600	859	1,350	0.2	7,500	2,000	2,419	3,800	0.2	5,500(6,500)	700	955	1,500	0.2	7,500
備考 イ スリーブの形状は、チューブ状とする。 ロ 折り径とは、円周長さの1/2の寸法である。 ハ 呼び径1,600～2,000mmの（ ）内寸法は、管有効長5,000mmの場合に適用					備考 イ スリーブの形状は、チューブ状とする。 ロ 折り径とは、円周長さの1/2の寸法である。 ハ 呼び径1,600～2,000mmの（ ）内寸法は、管有効長5,000mmの場合に適用									

新			旧		
表-2 表-1の許容値			表-2 表-1の許容値		
折り径 (mm)	厚さ (mm)	長さ (mm)	折り径 (mm)	厚さ (mm)	長さ (mm)
+ 規定しない - 0.5	+ 規定しない - 0.02	+ 規定しない - 1.0	+ 規定しない - 0.5	+ 規定しない - 0.02	+ 規定しない - 1.0
<p>3. 施 工</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p style="text-align: center;">18. 管名称等の明示要領</p> <p>1. 明示テープ</p> <p>(1) 適用範囲</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p>(2) 材 料</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p>(3) 貼付方法</p> <p>① 管類の貼付は、標準図による胴巻きテープとし、φ50 (HIVP) 及びφ400mm以上は胴巻きテープの上に管天端テープを貼付するものとする。</p> <p>② 胴巻きは、1m間隔に1.5回巻とし、管上半円部で重ね合わせるものとする。</p> <p>③ テープを貼付するときは、テープを軽く引張りながら圧着するものとする。</p> <p>(4) その他</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p>(5) 明示テープ貼付標準図</p> <p style="text-align: center;">省 略</p>			<p>3. 施 工</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p style="text-align: center;">18. 管名称等の明示要領</p> <p>1. 明示テープ</p> <p>(1) 適用範囲</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p>(2) 材 料</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p>(3) 貼付方法</p> <p>① 管類の貼付は、標準図による胴巻きテープとし、<u>φ50</u>及びφ400mm以上は胴巻きテープの上に管天端テープを貼付するものとする。</p> <p>② 胴巻きは、1m間隔に1.5回巻とし、管上半円部で重ね合わせるものとする。</p> <p>③ テープを貼付するときは、テープを軽く引張りながら圧着するものとする。</p> <p>(4) その他</p> <p style="text-align: center;">省 略</p> <p>(5) 明示テープ貼付標準図</p> <p style="text-align: center;">省 略</p>		

新	旧																																																																																																																																																			
19. 工事完成図作成要領	19. 工事完成図作成要領																																																																																																																																																			
省 略	省 略																																																																																																																																																			
<p>7. 図上の表示</p> <p>(1) 方位は、原則として図面配置上可能なものは「北」上方にすること。</p> <p>(2) (1)以外のものは、必ず方位を入れること。</p> <p>(3) 管種別略称</p> <table border="0"> <tr><td>・ダクタイル鋳鉄管</td><td>A形</td><td>ADP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>K形</td><td>KDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>T形</td><td>TDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>KF形</td><td>KFDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>U形</td><td>UDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>UF形</td><td>UFDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (S形)</td><td>SDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (SII形)</td><td>SII DP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (NS形) 内面エポキシ樹脂粉体塗装</td><td>NSDP (E)</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (GX形)</td><td>GXDP (E)</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (S50形)</td><td>S50DP (E)</td></tr> <tr><td>・メカニカル鋳鉄管 (無ライニング)</td><td></td><td>MCIP</td></tr> <tr><td>・鋳鉄管</td><td></td><td>CIP</td></tr> <tr><td>・鋼管</td><td></td><td>SP</td></tr> <tr><td>・ビクトリック継手</td><td></td><td>EXVIC</td></tr> <tr><td>・ドレッサー継手</td><td></td><td>EXD</td></tr> <tr><td>・ベローズ継手</td><td></td><td>EXB</td></tr> <tr><td>・鋳鉄製ボール状可撓継手</td><td></td><td>EXDB</td></tr> <tr><td>・ゴム伸縮継手</td><td></td><td>EXR</td></tr> <tr><td>・石綿セメント管</td><td></td><td>ACP</td></tr> <tr><td>・耐衝撃性硬質塩化ビニル管</td><td></td><td>HIVP</td></tr> <tr><td>・鉛管</td><td></td><td>LP</td></tr> <tr><td>・ビニルライニング鋼管</td><td></td><td>SGP-V</td></tr> <tr><td>・ステンレス鋼鋼管</td><td></td><td>SSP</td></tr> <tr><td>・ポリエチレン管</td><td></td><td>PP</td></tr> </table>	・ダクタイル鋳鉄管	A形	ADP	・ "	K形	KDP	・ "	T形	TDP	・ "	KF形	KFDP	・ "	U形	UDP	・ "	UF形	UFDP	・ "	耐震継手 (S形)	SDP	・ "	耐震継手 (SII形)	SII DP	・ "	耐震継手 (NS形) 内面エポキシ樹脂粉体塗装	NSDP (E)	・ "	耐震継手 (GX形)	GXDP (E)	・ "	耐震継手 (S50形)	S50DP (E)	・メカニカル鋳鉄管 (無ライニング)		MCIP	・鋳鉄管		CIP	・鋼管		SP	・ビクトリック継手		EXVIC	・ドレッサー継手		EXD	・ベローズ継手		EXB	・鋳鉄製ボール状可撓継手		EXDB	・ゴム伸縮継手		EXR	・石綿セメント管		ACP	・耐衝撃性硬質塩化ビニル管		HIVP	・鉛管		LP	・ビニルライニング鋼管		SGP-V	・ステンレス鋼鋼管		SSP	・ポリエチレン管		PP	<p>7. 図上の表示</p> <p>(1) 方位は、原則として図面配置上可能なものは「北」上方にすること。</p> <p>(2) (1)以外のものは、必ず方位を入れること。</p> <p>(3) 管種別略称</p> <table border="0"> <tr><td>・ダクタイル鋳鉄管</td><td>A形</td><td>ADP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>K形</td><td>KDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>T形</td><td>TDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>KF形</td><td>KFDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>U形</td><td>UDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>UF形</td><td>UFDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (S形)</td><td>SDP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (SII形)</td><td>SII DP</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (NS形) 内面エポキシ樹脂粉体塗装</td><td>NSDP (E)</td></tr> <tr><td>・ "</td><td>耐震継手 (GX形)</td><td>GXDP (E)</td></tr> <tr><td>・メカニカル鋳鉄管 (無ライニング)</td><td></td><td>MCIP</td></tr> <tr><td>・鋳鉄管</td><td></td><td>CIP</td></tr> <tr><td>・鋼管</td><td></td><td>SP</td></tr> <tr><td>・ビクトリック継手</td><td></td><td>EXVIC</td></tr> <tr><td>・ドレッサー継手</td><td></td><td>EXD</td></tr> <tr><td>・ベローズ継手</td><td></td><td>EXB</td></tr> <tr><td>・鋳鉄製ボール状可撓継手</td><td></td><td>EXDB</td></tr> <tr><td>・ゴム伸縮継手</td><td></td><td>EXR</td></tr> <tr><td>・石綿セメント管</td><td></td><td>ACP</td></tr> <tr><td>・耐衝撃性硬質塩化ビニル管</td><td></td><td>HIVP</td></tr> <tr><td>・鉛管</td><td></td><td>LP</td></tr> <tr><td>・ビニルライニング鋼管</td><td></td><td>SGP-V</td></tr> <tr><td>・ステンレス鋼鋼管</td><td></td><td>SSP</td></tr> <tr><td>・ポリエチレン管</td><td></td><td>PP</td></tr> </table>	・ダクタイル鋳鉄管	A形	ADP	・ "	K形	KDP	・ "	T形	TDP	・ "	KF形	KFDP	・ "	U形	UDP	・ "	UF形	UFDP	・ "	耐震継手 (S形)	SDP	・ "	耐震継手 (SII形)	SII DP	・ "	耐震継手 (NS形) 内面エポキシ樹脂粉体塗装	NSDP (E)	・ "	耐震継手 (GX形)	GXDP (E)	・メカニカル鋳鉄管 (無ライニング)		MCIP	・鋳鉄管		CIP	・鋼管		SP	・ビクトリック継手		EXVIC	・ドレッサー継手		EXD	・ベローズ継手		EXB	・鋳鉄製ボール状可撓継手		EXDB	・ゴム伸縮継手		EXR	・石綿セメント管		ACP	・耐衝撃性硬質塩化ビニル管		HIVP	・鉛管		LP	・ビニルライニング鋼管		SGP-V	・ステンレス鋼鋼管		SSP	・ポリエチレン管		PP
・ダクタイル鋳鉄管	A形	ADP																																																																																																																																																		
・ "	K形	KDP																																																																																																																																																		
・ "	T形	TDP																																																																																																																																																		
・ "	KF形	KFDP																																																																																																																																																		
・ "	U形	UDP																																																																																																																																																		
・ "	UF形	UFDP																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (S形)	SDP																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (SII形)	SII DP																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (NS形) 内面エポキシ樹脂粉体塗装	NSDP (E)																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (GX形)	GXDP (E)																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (S50形)	S50DP (E)																																																																																																																																																		
・メカニカル鋳鉄管 (無ライニング)		MCIP																																																																																																																																																		
・鋳鉄管		CIP																																																																																																																																																		
・鋼管		SP																																																																																																																																																		
・ビクトリック継手		EXVIC																																																																																																																																																		
・ドレッサー継手		EXD																																																																																																																																																		
・ベローズ継手		EXB																																																																																																																																																		
・鋳鉄製ボール状可撓継手		EXDB																																																																																																																																																		
・ゴム伸縮継手		EXR																																																																																																																																																		
・石綿セメント管		ACP																																																																																																																																																		
・耐衝撃性硬質塩化ビニル管		HIVP																																																																																																																																																		
・鉛管		LP																																																																																																																																																		
・ビニルライニング鋼管		SGP-V																																																																																																																																																		
・ステンレス鋼鋼管		SSP																																																																																																																																																		
・ポリエチレン管		PP																																																																																																																																																		
・ダクタイル鋳鉄管	A形	ADP																																																																																																																																																		
・ "	K形	KDP																																																																																																																																																		
・ "	T形	TDP																																																																																																																																																		
・ "	KF形	KFDP																																																																																																																																																		
・ "	U形	UDP																																																																																																																																																		
・ "	UF形	UFDP																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (S形)	SDP																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (SII形)	SII DP																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (NS形) 内面エポキシ樹脂粉体塗装	NSDP (E)																																																																																																																																																		
・ "	耐震継手 (GX形)	GXDP (E)																																																																																																																																																		
・メカニカル鋳鉄管 (無ライニング)		MCIP																																																																																																																																																		
・鋳鉄管		CIP																																																																																																																																																		
・鋼管		SP																																																																																																																																																		
・ビクトリック継手		EXVIC																																																																																																																																																		
・ドレッサー継手		EXD																																																																																																																																																		
・ベローズ継手		EXB																																																																																																																																																		
・鋳鉄製ボール状可撓継手		EXDB																																																																																																																																																		
・ゴム伸縮継手		EXR																																																																																																																																																		
・石綿セメント管		ACP																																																																																																																																																		
・耐衝撃性硬質塩化ビニル管		HIVP																																																																																																																																																		
・鉛管		LP																																																																																																																																																		
・ビニルライニング鋼管		SGP-V																																																																																																																																																		
・ステンレス鋼鋼管		SSP																																																																																																																																																		
・ポリエチレン管		PP																																																																																																																																																		

新		旧	
(4) 各種記号	省略	(4) 各種記号	省略
(5) 継手記号(配管詳細図用)		(5) 継手記号(配管詳細図用)	
<ul style="list-style-type: none"> ・溶接鋼管  ・A形铸铁管 }  ・K形 " }  ・T形 " }  ・U形 " }  ・KF形铸铁管 }  ・UF形 " }  ・SII形铸铁管 }  ・S形 " }  ・NS形 " }  ・GX形铸铁管  ・切管 (挿しロリング加工)  ・切管 (溝切りのみ)  	<ul style="list-style-type: none"> ・離脱防止金具  ・特殊押輪  ・第一種铸铁継手  ・石綿セメント管継手  ・フランジ継手  ・VSP継手  ・S50形铸铁管  	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接鋼管  ・A形铸铁管 }  ・K形 " }  ・T形 " }  ・U形 " }  ・KF形铸铁管 }  ・UF形 " }  ・SII形铸铁管 }  ・S形 " }  ・NS形 " }  ・GX形铸铁管  ・切管 (挿しロリング加工)  ・切管 (溝切りのみ)  	<ul style="list-style-type: none"> ・離脱防止金具  ・特殊押輪  ・第一種铸铁継手  ・石綿セメント管継手  ・フランジ継手  ・VSP継手 
(6) 異形管記号 (配管詳細図用)	省略	(6) 異形管記号 (配管詳細図用)	省略
(7) 給水装置図 (図-3参照)	省略	(7) 給水装置図 (図-3参照)	省略

新

水道工事標準仕様書

2021年度版

昭和52年 4月 1日 初版発行
昭和55年12月 1日 第2版発行
平成 2年 5月 1日 第3版発行
平成 7年 4月 1日 第4版発行
平成12年 7月 1日 第5版発行
平成18年 4月 1日 第6版発行
平成27年 4月 1日 第7版発行
平成31年 4月 1日 第8版発行
令和 3年 4月 1日 第9版発行

編集 千葉県企業局
発行 千葉県企業局
〒262-8512 千葉市花見川区幕張町5-417-24
千葉県企業局幕張庁舎

旧

水道工事標準仕様書

2019年度版

昭和52年 4月 1日 初版発行
昭和55年12月 1日 第2版発行
平成 2年 5月 1日 第3版発行
平成 7年 4月 1日 第4版発行
平成12年 7月 1日 第5版発行
平成18年 4月 1日 第6版発行
平成27年 4月 1日 第7版発行
平成31年 4月 1日 第8版発行

編集 千葉県企業局
発行 千葉県企業局
〒262-8512 千葉市花見川区幕張町5-417-24
千葉県企業局幕張庁舎